

令和3年度 東京都中学校理科教育研究会 会員研究発表会発表者一覧

1 都中理

学校名等	学習・評価委員会
代表者名	高崎 紀昭 【大田区立大森東中学校】
発表テーマ	「主体的に学習に取り組む態度」の評価の工夫
発表項目	学習指導・評価
発表内容 (概要)	生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の一環として、評価方法について検討した。特に生徒の「主体的に学習に取り組む態度」について、粘り強い取り組みを行おうとする側面と自らの学習を調整しようとする側面を一体的に見取ることのできる評価方法を研究した。
推薦者	都中理学習・評価委員長 中野 敏英（大田区立蒲田中学校長）

学校名等	観察実験委員会
代表者名	吉田 勝彦【豊島区立駒込中学校】
発表テーマ	粒子概念の形成を目的とした授業の工夫～生徒が主体的に活動する場面の設定～
発表項目	観察・実験
発表内容 (概要)	第1学年の粒子領域では、「粒子の存在」「粒子の保存性」「粒子のもつエネルギー」の学習を通して生徒は粒子概念を獲得する。 本研究では、各学習場面において身近な自然現象を粒子モデルで表現して可視化させるとともに、主体的・対話的で深い学びを通して資質・能力の育成を目指す。
推薦者	都中理観察・実験委員長 飯牟禮 俊紀（葛飾区立桜道中学校長）

学校名等	環境教育委員会
代表者名	上野 晃英【西東京市立保谷中学校】
発表テーマ	環境問題を通し、課題解決力を育成する授業実践～タブレット端末を効果的に活用して～
発表項目	環境教育
発表内容 (概要)	本研究では、環境面と結びつけた探究的な課題を通し、科学的思考に基づく課題解決のプロセスにそって考えを進めることで、課題解決力を育成する授業を研究として行う。今回は、3年生化学分野の電池とイオンを題材に、環境面に配慮した電池を考察させる授業を展開した。 また、GIGA スクール構想に伴い、タブレット端末の効果的な活用が求められている。本研究の中でも、タブレット端末の様々な活用方法を実践し、子どもたちの課題解決力をより効果的に育成するための方法を研究していく。
推薦者	都中理環境教育委員長 野口 大和（品川区立戸越台中学校長）

2 個人

学校名等	文京区立音羽中学校
代表者名	北田 健【文京区立音羽中学校】
発表テーマ	生徒同士の対話を通して考えを深める学習の工夫 ～映像教材 NHK「ACTIVE10」を用いた授業実践報告～
発表項目	学習指導・評価
発表内容 (概要)	現在、生徒が主体的に取り組み、深い学びを実現する授業が求められている。私は生徒が身近な問題に感じた疑問を出発点に、考えながら学習に取り組み、学習後、学んだことを活用し自身の考えを深めながら学習に有用性を実感できる授業を実現するため NHK の番組「ACTIVE10」を活用しながら授業実践を行った。今回はその工夫と成果を報告したい。
推薦者	本郷 光一（文京区立音羽中学校長）